

用語解説

レーガノミクス (P296 13 行目)

1990 年代の米レーガン政権の経済政策の総称。市場メカニズムを信用して、供給面を重視し、減税・歳出削減・規制緩和などを打ち出し、マネタリズムに基づく通貨政策を実施した。

プラザ合意 (P296 15 行目)

1985 年にニューヨークプラザホテルで開催された G5(先進 5 か国財務相・中央銀行総裁会議)における合意事項。主な内容はアメリカの貿易赤字を縮小するため、各国の外為市場への協調介入によるドル高是正と、日本などの黒字国の内需拡大。

インターバンク市場 (P296 11 行目)

金融機関相互の短期的な資金の貸借によって、一時的な資金の過不足を調節する市場。構成はコール市場と手形売買市場。

舞浜会議 (P298 8 行目)

1994 年 2 月 25 日。千葉県浦安市舞浜の高級ホテル『ヒルトン東京ベイ』にて日本興業銀行相談役の中村金夫が経済同友会の会員らを集めた研究会のこと。大手企業のトップら 14 人が新しい日本型経営を提案するため集まった。

利潤原理 (P300 14 行目)

投資関数の定式化において利潤あるいは利潤率の重要性を強調する理論。

損益分岐点 (P300 17 行目)

損益発生の分れ目となる売上高。一期間の売上高がこの額を超えて始めて、売上高に比例した利潤が発生する。